米商進路だより

令和３年 11 月 29 日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第 24 号）

《　高校は大人の世界への準備期間！　》

11 月に入り、次年度に向けた企業の採用担当者および大学・短大・専門学校の広報担当者による訪問が続いています。アフターコロナを見据え経済活動が再開し、県内の高卒の有効求人倍率が過去最高 3.27 倍となっているのが要因と推測しています。売り手市場（高校生有利）の状況が続いており、進路指導室には県内企業の採用担当者から「決まっていない人がいれば…」という話があるのも事実です。

さて、12 月に入ると山形市や米沢市でも進学相談会が相次いで開催されます。進学希望者は、将来の目標（〇〇になりたい）を明確に描くことができる状態がのぞましく、本校のカリキュラムに即した商業科目等の各種検定に挑戦し結果を残すことが求められます。学校推薦型選抜を視野に入れている場合には、全商〇〇１級等の検定取得が条件になっていることを事前に確認して下さい。

２年生に対して 11 月 25 日（木）にライセンスアカデミー顧問の横関信太郎氏による講演会を実施いたしました。**「進路を決める」とは、あなたの未来の『働く姿』『学ぶ姿』を考えて決断するという話**を聞いて、期末考査を頑張ろうと思った人もいるのではないでしょうか。また、高校は大人の世界への準備期間であり、「今勉強しないと必ず後悔するときがくる」という話も印象的でした。

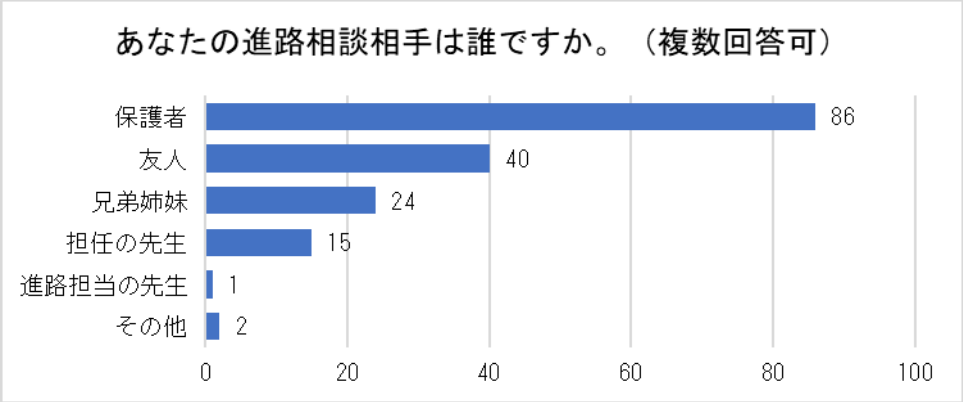
２年生は修学旅行が終わりホッとしている人がいるのかもしれません。進路実現に向けて、12 月に実施される就職実現セミナー（合同企業説明会）、進路相談会等の進路を考える時間を確保し意識の高揚の機会を設定しました。さらに、12 月 18 日（土）には、１・２年生の保護者の皆様を対象に横関信太郎氏から「子どもの未来を実現する保護者の役割」というタイトルで講演会を企画いたしました。

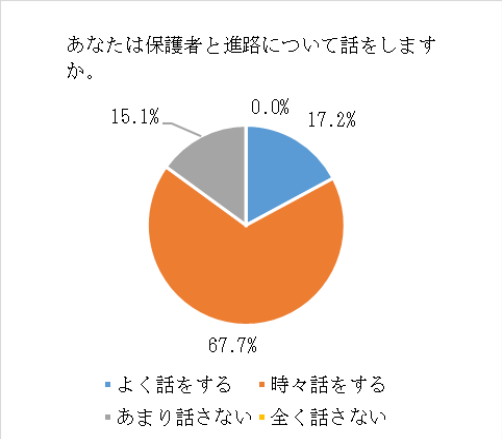
進路を決めることは学校生活において重要なことであり、今の時期に親子で話し合う時間が必要だと考えています。「何となく決める」「とりあえず考える」「消去法で考える」等の NG ワードを紹介していただきました。**自分が幸せであることこそが“親孝行”であるという話を肝に銘じて、『今やるべきこと』をもう一度確認し日々の生活を送っていきましょう。**

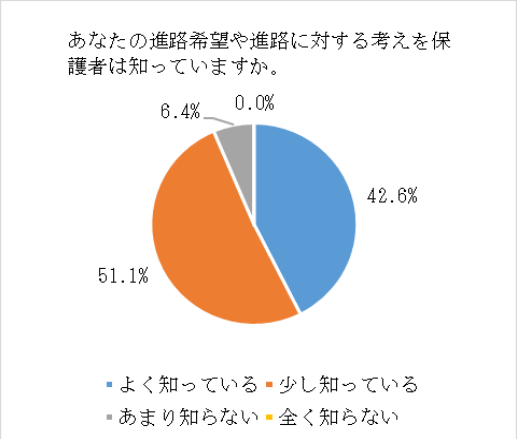
２学年進路講演会（稽古館）

《　2年生の進路希望調査（進路講演会後）　》

大学	短大	専門学校	公務員	県内就職	県外就職	未定
18	2	29	2	20	14	8







上記のアンケート調査から読み取れることは、進路について相談する相手は保護者が圧倒的に多いという実態です。日ごろから保護者の皆様と情報を共有している人が80%を超えている一方で、「あまり話さない」「全く話さない」いう数字が 15%程度いることも気がかりです。卒業後の進路を自分だけでなく、保護者と一緒になって考えていくことが理想だと考えています。

何事も事前の段取りが大切だと改めて感じることができました。将来、自分がどうやって生きていくのかを決めるのは、自分次第だと思うので、今考えている進路が合っているのかよく考えてみたいと思いました。

進学か就職か悩んでいたけれど、少し悩みが解決されたので良かった。今回の講話を聴いて自分でも進路について調べてみようと思った。

高校在学中に、「ON」と「OFF」の区別をすることがとても大事なことだと教えていただきました。授業中に集中できるように改善し、大人になるための準備をしていきたい。

私が今まで思っていたようなことと講演の内容が一致するところがあって、思わず笑ってしまう所もあったり聞いていてタメになる話でした。親にも聞いてもらいたいです。